

“明治安田生命 ふるさと関西を考えるキャンペーン41年目”

冊子「関西のろおじ（路地）漫歩」を発行

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、2016年度の「関西を考える会」の冊子として「関西のろおじ（路地）漫歩」（A4判・本文80ページ）を発行します。

明治安田生命の「関西を考える会」（代表 真野 修三）は、1976年（昭和51年）以来、地域・社会貢献活動の一環として関西の歴史・文化を探る活動を続け、毎年さまざまなテーマ（※1）で冊子を発行してきました。

41年目にあたる今回は、専門家・有識者79人からいただいたさまざまなコメントを中心に、「ろおじ」とも呼ばれる関西2府4県各地の路地を紹介しています。

なお、本冊子は、関西一円の方々にお読みいただくため、関西2府4県の図書館等にも寄贈いたします。

（※1）近年の冊子テーマについては、**別紙**をご参照ください。

【冊子に掲載の有識者コメント（抜粋）】

■都市空間と路地、横丁：加藤 政洋（立命館大学准教授）

・一般に路地が生活空間であるとするならば、横丁は飲み屋のひしめく商業空間ということができそうです。法善寺横丁は2003年の火災後に復興されて現在にいたりますが、旧来の横丁はどんどんその姿を消しているのが現状です。

■京都・石堀小路：原田 憲一（至誠館大学学長）

・夕暮れ時、人通りの多い「ねねの道」から小路に一步入ると、ぐっと人氣がなくなって、時代劇のセットに迷い込んだような気になります。暗くなるまで石堀小路のなかにある店で食事を楽しみ、帰るときは下川原通につづく北側の道がお奨めです。出口から後ろを振り返えると、昼間とはまったく別の世界が見えるはずですよ。

冊子は無料で配布します。ご希望の方は、明治安田生命大阪本部大阪総務室（※2）までお越しいただくか、送料300円分の切手を同封のうえ、以下までお申し込みください（おひとりさま1冊限り）。詳しくは、当社ホームページ「明治安田生命 関西を考える会」（※3）をご覧ください。

（※2）本年から、大阪総務室に加え、関西2府4県の当社「お客さまご来店窓口」でもお渡しします。所在地など詳細は、「関西を考える会」までお問い合わせください。

（※3）<http://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/kansai/index.html>

〒541-0051 大阪市中央区備後町1-6-15

明治安田生命備後町ビル3F（2016年4月から3Fに移転）

明治安田生命大阪本部大阪総務室「関西を考える会」

TEL 06（6208）3750

以上

＜ご参考：明治安田生命「関西を考える会」近年の冊子テーマ＞

年度	冊子タイトル
１９９７年	しなやかに、したたかに ～関西女性考～
１９９８年	勝っても負けてもお祭りや ～阪神タイガース考～
１９９９年	伝統とモダン ～関西の町文化考～
２０００年	水との物語 ～関西の水文化考～
２００１年	関西の祭り百景 ～関西の祭り文化考～
２００２年	関西の山風土記 ～山を通して見る関西の歴史と文化～
２００３年	関西の池紀行 ～池が映す歴史と文化～
２００４年	始まりは関西 ～進取の精神と風土を探る～
２００５年	関西と寺社 ～寺社を通じてみる関西～
２００６年	記憶のシーン ～今はない関西、残したい関西～
２００７年	笑いのディクショナリー ～関西の笑い、日本の笑い～
２００８年	関西の道を巡る
２００９年	昭和と関西の４０年
２０１０年	関西のまち
２０１１年	関西の駅
２０１２年	関西うまいもんばなし
２０１３年	探検！発見！関西の近代化遺産
２０１４年	関西から おもてなし
２０１５年	関西の橋づくし、橋めぐり
２０１６年	関西のろおじ（路地）散歩